

## 協定留学近況報告書

記 入 日	2019年 11月7日
留 学 先 大 学	ウィーン大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): _____, (現地言語での名称): _____ <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他: Visiting PhD Studium (所属: Dr.- Studium der Philosophie/Europäische Ethnologie)
留 学 期 間	2019年10月－2020年6月
明 治 大 学 での 所 属	文学研究科 史学専攻
学 年 ( 出 発 時 本 学 での 学 年 )	学部 _____ 年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input checked="" type="checkbox"/> 博士後期課程2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

準備に際しては、在日オーストリア大使館のウェブサイトや、ネットのブログ記事をもとに情報を集めました。大使館のサイトにも書いてある通り、申請者の状況や時期によって必要書類は異なるので一度は必ず大使館に電話かメールで問い合わせをしたほうが良いです。日本で用意すべき書類は、手続きをしてから手元に届くまで早くても1～2週間はかかるので、出発日から逆算して計画的に準備してください。特に土日休みやお盆休みを挟む場合は注意が必要です。

### II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: 学生ビザ (※現地手続き)	申請先: MA35
ビザ取得所要日数: 29 日 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: €195.80

#### ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

オーストリアでは、パスポートのみで6か月間滞在が可能ですが、それ以上長期に渡る滞在を予定する場合は現地でビザの申請を行います。必要書類は以下の通りです。渡航前に日本で揃えるものと、現地で取得するものがあります。

- ・申請書…サイトからダウンロードして記入
- ・パスポート(原本)
- ・パスポートのコピー(白紙のページ以外すべて)
- ・パスポートサイズの顔写真
- ・戸籍謄本…自治体で申請したのち、アポストイーユと翻訳認証を付ける
- ・無犯罪証明書…警視庁で申請
- ・Meldezettel…現地到着3日以内に各区の機関に取りに行く
- ・経済的証明…①現地で銀行口座を開設し、その口座の残高証明をコピー、②親の源泉徴収票をドイツ語に翻訳依頼しコピー
- ・保険証明…現地で学生保険に加入(日本の保険に入っていたとしても現地で加入する必要あり)
- ・居住証明…事前にメールで受け取っていた家賃や大家のサインが書かれた契約書をダウンロード
- ・学籍の証明書…大学ホームページのサイトからダウンロード

### 具体的な申し込み手順を教えてください。

必要書類を持って MA35 で申請をします。まずはエントランスで番号札を発券し、自分の番号が呼ばれたら窓口で次に行くべき階の指示を受けます。その階に移動したらまた掲示板に自分の番号が映るまで待ちます。掲示板には、自分の番号と部屋番号が映るので、自分の番になったらその部屋に入ります。そこで書類を提出したら確認が終わるまで再び部屋の外で待ちます。再度番号が映り、部屋に入ると、別の階で指紋を取りに行くように指示されます。その後、また別の階で料金の支払い(€175.80)を済ませるように指示されるので、それに従って移動して最初の部屋に戻ります。このときにもし不備が無ければ、「次は〇月〇日以降にカードを取りに来てください」という旨の書類を受け取ってその日の手続きは完了です。しかし私は口座残高が足りなかったため、「〇月〇日までに€〇〇.〇〇以上の口座残高の証明書をメールで添付してください」という書類をもらいました。

猶予期間は 2 週間ほどだったので、焦ることなく指示通りに残高証明書をメールで送りました。その後、受領の通知と、次のカード受取日の詳細がメールで送られてきました。日にはそのメールの約 2 週間後でした。

指定された日に、必要書類を持って再び MA35 に向かいます。私は、メールでパスポート、前回のビザ申請での支払い証明書、学生保険の証明書、口座残高証明書を持ってくるように指示されました。保険と残高証明書は 2 度提出したことになります。MA35 での流れは前回と同様で、まずエントランスで番号札を発券して窓口で要件を伝えます。今回はカードの受け取りだけなので、同じ階で掲示板に番号が映るまで待ちました。その後、部屋に入って書類を提出すると、カードを受け取り、契約書にサインするように指示されました。その後、また料金(€20)を支払いに別の階に行き、元の部屋に戻って支払いの控えを提出し、すべての手続きが終了しました。

### ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

特になし

### ビザ取得に関して困った点・注意点

先ほども書きましたが、ビザに関する情報は大使館の HP をはじめ多くのブログで入手できますが、ビザの種類や必要書類は留学形態が同じでも年度や年齢によって異なります。近年では移民・難民政策により、提出書類や経済的証明の金額が毎年変わっているようなので注意が必要です。情報を鵜呑みにせず、まずは在日オーストリア大使館に問い合わせる必要なビザの種類を聞き、オーストリア政府のサイトから必要書類を確認することをおすすめします。

私は書類に不備はありませんでしたが、経済的証明として提出した銀行の口座残高が基準を満たしていなかったため、指示通りに後日メールに添付して提出しました。このように一度提出したときに不備があった場合は、その書類だけ後日提出することも可能なようです。

## II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

### その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

#### ・現地での現金調達準備

ビザ申請のためには現地で開設した銀行口座に一定額以上の残高があることを証明しなければなりません。すべてを現金で持っていくことは不可能なので、渡航前にキャッシュパスポートというチャージ式のクレジットカード兼キャッシュカードを申し込みました。このカードは日本にいるときに円で振込をしておくで現地でユーロに換金された状態で現金を引き出すことができます。万が一に備えて日本にいる家族に口座番号を教えておけば、そこに入金してもらうこともできます。だいたい 1 日程度で振込が完了されすぐに ATM で引き出せるので、海外送金をするよりも使い勝手が良いと思います。

私はこのカードの他に、デビットカードも新たに作りました。このデビットカードには payWave が付いていてとても重宝しています。というのも、私が泊っている寮の洗濯機は payWave でしか支払いができないものだったからです。余裕があれば、事前に寮にある機械の使い方や料金の支払い方も調べておいたほうが良いと思います。

現金は換金所でユーロに換金して持って行きました。ほとんどのお店ではクレジットカードで支払いができると思いますが、ウィーンの一部の老舗カフェでは現金のみの支払いのところもあったので、少しは現金も持って行ったほうが良いと思います。

#### ・スマートフォン

現地では日本で使っているスマートフォンに SIM カードを挿入して使うため、事前に携帯ショップでスマホ本体を休止状態にして通信料が発生しない状態にしてみました。

### Ⅲ. 現地到着後のながれ

#### 1. 到着時の様子

利用航空会社	ANNA				
航空券手配方法	ANNA のオンラインサイトから予約 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	ウィーン国際空港	現地到着時刻	午前 6 時		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input checked="" type="checkbox"/> その他 仲業者 が手配してくれた出 迎え
移動の所要時間	約 30 分				

#### 空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

住宅仲業者が手配してくれた出迎えで移動しましたが、当日は運転手本人と WhatsApp(日本でいう LINE のような SMS)を介して、到着の連絡と駐車場の連絡など電話でやり取りをしなければなりません。空港には Wi-Fi があったので問題ありませんでしたが、すぐに連絡が取れる状態にしておく必要がありました。空港から寮までは、高速道路で移動しました。

大学到着日	9 月 2 日 朝 8 時頃
-------	----------------

#### 2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方:	月	日から入居可能だった。
	<input type="checkbox"/> いいえ			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他( )	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他( )	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他( )	
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他( )	
住居の申込み手順	ウィーン大学担当者に有効な住宅ウェブサイトをいくつか教えてもらう→いくつかのサイトに登録し、条件に合う部屋が見つかるまで連絡を取る→決定			

#### 住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

住居を探し始めたのが遅かったので渡航前に終わらせる手続き(各種書類の提出やデポジットの海外送金など)が慌ただしくなりました。入居の時期が悪かったのか、条件の良い住居があまり見当たらなかった。

#### 3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input type="checkbox"/> あった	<input checked="" type="checkbox"/> なかった
日程		
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須	<input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料(金額: )
内容と様子は?		
留学生用特別ガイド	<input type="checkbox"/> あった	<input checked="" type="checkbox"/> なかった
授業開始日	10 月 1 日から	

#### IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

##### 1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

まずは到着から3日以内に Meldezettle を役所に提出しなければなりません。私の場合、寮から事前に書類を送付してもらっていたので当日はその書類とパスポートだけを持って提出しに行くだけでした。しかし多くの場合は、寮に到着したら責任者のサインをもらってから自身の情報を記入し、提出しなければならないので余裕をもって到着することをおすすめします。書類の提出自体は5分ほどでしたが、役所は大変込み合っており40分ほど待合室で待ちました。

次に、オーストリアでは長期滞在のための在留許可(いわゆるビザ)を取得します。なるべく早く申請する必要がありますが、保険加入、銀行口座開設などが済んでからでなければならぬため、どんなにスムーズに事が進んでも数週間は書類を準備する時間が必要だと思います。具体的な申し込み方法は、上記の渡航前ビザ手続きの欄に書いた通りです。

##### 2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

・保険加入 明治大学では留学予定者全員が渡航前に保険に加入しますが、オーストリアでは現地の保険に加入していなければビザ申請ができません。私は WGKK の学生保険(月€59.57)に加入しました。パスポート、Meldezettle、在籍証明書、必要事項を記入した申請書類を本部まで持って行って申請します。事前に経験者の方が書いたブログなどでは様々なトラブルが書かれていましたが、何もトラブルは起きませんでした。申請から約1週間後に郵送で保険証が届き、手続きは完了です。

##### 3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

ビザ取得のために必要なので、パスポート、Meldezettle、大学の受け入れ許可証、9月の語学集中コースの受講票を持っていきました。窓口で口座開設の旨を伝えると、担当者が英語で手続きをしてくれました。必要事項の入力は担当者が行い、私はいくつかの形式的な質問に答え、複数の書類にサインをただけで終わりました。その際に、学生証に記載されるIDが分かり次第、もう一度店舗窓口に来るように指示されました。その後1週間以内に郵送でPINコードの通知、2週間後にはカードが届きました。口座開設は無料でした。私は入学手続きで若干のトラブルがあり在籍証明書が9月末にやっと発行されたので、IDが記載された書類を提出しに行ったのは10月になってからでしたが、約1か月経った後でも特に何も言われることなく手続きをしてくれました。

##### 4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

ウィーンでは、日本で使っていたiPhoneをSIMロック解除したものに、現地で購入したSIMカードを挿入して使っています。SIMカードにもいろいろな種類があるので事前に調べておくといいと思います。ウィーンでは、SIMカードは郵便局や電気屋で購入できますが、オーストリアでは2019年からSIMカードの購入の際に身分証の提示と個人情報の登録が必要になったので現地で購入する必要があります。私は万が一不具合があったときに備えて毎回携帯ショップの店頭で購入しています。

私は、寮にWi-Fiが無いので、T-Mobileという会社の1か月5GBのSIMカードを€10で購入しています。身分証としてパスポートを提示して購入します。

#### V. 履修科目と授業について

##### 1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(            月            日頃)  
 オンラインで登録  志願書類に記入して登録  できなかった  その他(            )

到着後に(9月28日頃)  
 オンラインで登録  国際オフィス等の仲介  できなかった  その他(            )

登録時に留学生として優先されることは  あった  なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

明治大学の Oh-o! Meiji システムのようなシステムがあり、授業検索をして登録した。人数制限がある授業は先着になるため、シラバス公開後すぐに登録しないとキャンセル待ちになります。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

**VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。**

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床	起床	起床	起床	起床		
8:00	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	起床	起床
9:00	語学学校 (ドイツ語)	授業	語学学校 (ドイツ語)		勉強	朝食・掃除・洗濯	朝食
10:00	語学学校 (ドイツ語)	授業	語学学校 (ドイツ語)		勉強	勉強	勉強
11:00	語学学校 (ドイツ語)	授業	語学学校 (ドイツ語)	授業	勉強	勉強	勉強
12:00	語学学校 (ドイツ語)	授業	語学学校 (ドイツ語)	授業	昼食	昼食	昼食
13:00	授業	日本学部 TA	昼食	授業	勉強	自由時間 (外出)	料理 (作り置き)
14:00	授業	日本学部 TA	勉強	昼食	勉強	自由時間 (外出)	料理 (作り置き)
15:00	授業	日本学部 TA	勉強	勉強	勉強	自由時間 (外出)	料理 (作り置き)
16:00		日本学部 TA	勉強	勉強	タンデム	自由時間 (外出)	散歩
17:00	帰宅	夕食	帰宅	帰宅	タンデム	帰宅	帰宅
18:00		語学学校 (チェコ語)					
19:00	夕食	語学学校 (チェコ語)	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
20:00	勉強	語学学校 (チェコ語)	勉強	勉強	勉強	自由時間	自由時間
21:00	勉強	語学学校 (チェコ語)	勉強	勉強	勉強	自由時間	自由時間
22:00	自由時間	帰宅	自由時間	自由時間	自由時間	勉強	勉強
23:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
24:00							

**VII. 現在までの感想**

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

ウィーン大学にはいくつものキャンパスがあり、専門科目以外にも自分の好きな授業を選択することができます。私は Visiting PhD プログラムとしてこちらで学んでいるため、教授との面談をしながら自身の研究テーマを深めるために勉強しています。平日は大学の講義と語学の授業に出席して課題をこなすのに精一杯ですが、時間を見つけて図書館や文書館に通っています。

私は生活に慣れるまで、いろいろなコミュニティに参加して、知り合いを増やしていきました。たとえば、語学コースでは年齢もドイツ語を学ぶ動機も多種多様な世界各国の人々と知り合い、大学主催のタンデムの会では日本語を学ぶオーストリア人と知り合うことができました。私は寮では一人暮らしをしているため気を抜くとひとりきりの時間が増えてしまいがちなので、自分から行動していろいろな人とコミュニケーションを取ることを心がけています。こうした交流の中で、休日に一緒に食事に行ったり、メッセージのやり取りをしたりする友人ができました。語学の勉強のためだけでなく、日々の生活を豊かにするためにも自ら行動することの重要性を感じています。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

留学の目的を明確にし、日本にいるうちからどのような留学生活を送りたいか想像して準備を万全にしておくことが大切です。学習面でも生活面でも、準備をきちんとしておけばトラブルに巻き込まれる可能性を減らすことができます。充実した留学生活になるよう、頑張ってください！